議会報告会会議録	
1　開 会 日	平成２２年５月１５日　　午後　１時３０分　開会 午後　３時４０分　閉会
2　場　　所	保健センター研修室
3　出席議員	山田喜一議長（開会あいさつ） 山口陽一副議長（閉会あいさつ） 土橋秀雄議員（司会） 清水弘子議員（報告）　　百瀬恵美子議員（報告） 浅輪いつ子議員（資料作成）　竹内恵美子議員（資料作成） 三澤龍夫議員（記録）
4　傍聴議員	鈴木京子議員　　奥津勝子議員　　高橋英俊議員 坂田よう子議員　渡辺順子議員
5　参加者	１５人
6　報告事項	（１）議会基本条例について （２）平成２２年度予算の主な事業について （３）主な議案の審議状況について
7　その他	

議会報告会会議録	
1　開 会 日	平成２２年５月２２日　　午後　１時３０分　開会 午後　３時３０分　閉会
2　場　　所	国府支所２階会議室
3　出席議員	山田喜一議長（開会あいさつ） 山口陽一副議長（閉会あいさつ） 坂田よう子議員（司会） 鈴木京子議員（報告）　　高橋英俊議員（報告） 奥津勝子議員（資料作成・記録） 柴崎　茂議員（資料作成・記録） 渡辺順子議員（資料作成・記録）
4　傍聴議員	清水弘子議員　　百瀬恵美子議員　浅輪いつ子議員 竹内恵美子議員　土橋秀雄議員
5　参加者	３２人
6　報告事項	（１）議会基本条例について （２）平成２２年度予算の主な事業について （３）主な議案の審議状況について
7　その他	

初の議会　報告会を開催

議会は議会基本条例に基づき、初めて議会報告会を5月15日（土）に保健センター、22日（土）に国府支所にて、午後1時30分から開催した。

議会報告会は、「議会が町民の代表機関として果たすべき役割がますます大きくなる中で、町民の皆さんに議会活動を報告するとともに、皆さんの意見を受け止め、議会運営の改善を図る」ことを目的として、議会全体で取り組み実施した。

2回の報告会では、議員を2班に分け、挨拶・司会・報告・資料作成・記録・閉会の役割を全員で分担して取り組み、担当班以外の議員は傍聴参加した。

テーマは、①議会基本条例の目的と内容　②平成22年度予算の審議内容　③3月議会での主な議案審議内容の3点で、議会だより155号を参考に報告した。

予定の2時間を越える活発な町民と議員の意見交換ができた報告会となったが、参加者が約50名と少なかったことや資料不足などは、次回の教訓にすることを全議員で確認した。

予算に対する質問と回答

問　今年度予算、対前年度の増減はどうか。

答　一般会計で1.1％の増である。

問　増の主な理由は何か。

答　子ども手当、医療費の増などである。

問　収支のバランスを知りたい。

答　自主財源は一般会計で68％ぐらいである。

問　財政状況の説明が必要ではないか。

答　町では定期的に広報で公表している。本町はそんなにひどい状況ではないと考える。

問　この6月から町職員は0.2月の期末手当の削減をする。議員はどうなっているのか。

答　平成21年度は急激な税収減のため期末手当0.35ヶ月削減を行ったが、人事院勧告は、民間賃金を基準に職員給与の上げ下げの勧告である。本来議員報酬は対象外である。

問　議員の報酬や定数の削減はしないのか。

答　議員報酬や費用弁償は削減をしている。定数や議員報酬は、これからも検討を続ける。

条例に対する質問と回答

問　議会報告会は、どのようなスケジュールで行っていくのか。

答　3月の予算議会の後としているが、できるだけ開催していきたい。

問　参加が少ないが、どう呼びかけたのか。

答　議会だより、HP、回覧でお知らせしたが、もっと工夫していきたい。

他の質問・意見

・大磯駅ホーム屋根の延伸はどうなったのか。

・事業仕分けをして、町民に分かりやすく示すべきだ。

・下水道の整備が遅れているのでは。

・旧山口邸の買い取りや吉田茂邸の再建をめざす意味は。

・予算関係の議会だよりは特別編成にして、もっと詳しく分かりやすく。高齢者が見ている。

・庁舎駐車場、駐輪場の管理は機械化を図るべきだ。

・若い人達の社会にすべきだ。

・大磯は文化をキーワードにし、知的な観光のできるまちだ。

・放課後子ども教室の長期ビジョンが見えてこない。

・国府橋の幅が狭い。今どき、車もすれ違えない橋でどうする。

・大磯町の補助金の出し方がおかしい。二宮町はきちんとできている。

・道路整備の場所はどのようにして決定するのか。地元の意見を聞くべきでは。

執行者側（町）の詳しいことは議会がすぐに答えられないこともあるが、いただいた指摘を議会活動に生かしていくことを議会として確認した。

国府支所での議会報告会

アンケート結果

主な意見	
今後も続けてほしい	6名
出席者が少なかったので増やしてほしい	3名
資料が不足していた	3名
個人の考えを知りたかった	1名
言い訳が多かった	1名
説明に終始していた	1名
必要かどうか	1名
具体的な回答がほしい	1名
議会だよりをしっかり読んだのは初めて	1名
次回は地域密着をテーマにしてほしい	1名

要　望
放課後子ども教室の将来展望を示してほしい
ＪＲ大磯駅の屋根の延伸をしてほしい

日	参加者	回答者
5月15日	15名（ 1名）	8名
5月22日	32名(10名)	9名
合計	47名	17名

（　）は女性

感　想	参加者
良かった	6名
普　　通	6名
良くない	3名
無 回 答	2名

議員報酬等の推移

項目＼年度（平成）	13年度	14年度	15年度	16年度	19年度	21年度
議員定数	20人	20人	20人→18人	18人	18人→14人	14人
費用弁償	2,648,120円	1,616,000円	1,225,965円	111,780円	32,100円	34,580円
政務調査費（年額）	—	2,400,000円（一人年額120,000円）	2,160,000円	2,160,000円	2,520,000円（一人年額180,000円）	2,520,000円
議員報酬（年額）	78,222,270円 議　長428,000/月 副議長348,000/月 議　員319,000/月	77,478,477円	72,749,131円	69,684,000円 議　長423,000/月 副議長344,000/月 議　員315,000/月	57,784,949円	54,569,955円
議員期末手当（年額）	34,341,362円	33,450,393円	27,959,902円	30,149,944円	25,949,734円	21,730,113円
計	115,211,752円	114,944,870円	104,094,998円	102,105,724円	86,286,783円	78,854,648円

◆ 平成13年度の費用弁償は、委員会等への出席日当2,000円と委員会視察の旅費である。
◆ 平成14年度より政務調査費を導入し、委員会の宿泊を伴う視察旅費は政務調査費で支出することにした。
◆ 平成16年度より委員会等への出席日当2,000円の費用弁償を廃止した。
◆ 平成21年度の費用弁償は、研修会参加の交通費である。